

## 「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2017年度分）

2018年4月3日

計画班名：総括班

申請者氏名・所属・職名：安田一郎・東京大学大気海洋研・教授

申請者連絡先 電話・メール：04-7136-6040, [ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp)

対象者氏名・所属・職名：西岡純・北海道大学・低温科学研究所・准教授

対象者連絡先 電話・メール：011-706-7655, [nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp](mailto:nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)

対象者氏名・所属・職名：安田一郎・東京大学大気海洋研・教授

対象者連絡先 電話・メール：04-7136-6040, [ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp)

相手先氏名・所属・職名：Dr. Yuri Volkov, Director of Far Eastern Hydro-meteorological Research Institute

相手先連絡先 住所・電話・メール：

Far Eastern Hydro-meteorological Research Institute

FONTANAYA 24, VLADIVOSTOK, 690990, RUSSIA

[hydromet@mail.ru](mailto:hydromet@mail.ru)

申請項目（複数可、数字を記入）：1、2、3、4

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：ロシア船を利用したロシア海域研究航海計画の打ち合わせ

成果報告要旨（A4数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること）：

当新学術領域では、隣国の海域における混合および地球生物化学的等統合的の海洋観測を展開することによって、海洋循環・物質循環を通じた生物生産の仕組みを明らかにすることを目標としている。ロシア船による海洋観測は、その中核をなすものであり、共同研究航海を行う相手方として、これまでも実績を積み上げてきた、ロシア極東水文気象研究所のボルコフ所長を訪問し、当新学術でのロシア船を用いた研究航海計画を策定するとともに、ロシア政府に提出する許可申請などについて、協議した。これまでロシア船航海とロシアとの交渉に高い実績を持つ、A02-3班計画班長の西岡准教授、および、領域代表の安田で、経費を含めた厳しい交渉に臨んだ。

5月の訪問では、2016年度にロシア政府に提出したプロポーザルの観測項目ごとの採否を踏まえて練り直した、2018年度航海の実行計画を持参し、その可否を提出前に事前検討するとともに、航海の経費や契約についての交渉を行った。

2018年3月の訪問では、契約をかわすための手続きを明確にした他、実際の航海に使われるマルタノフスキーを訪問し、船長、航海長などと打ち合わせを行い、船の設備その他、詳細な検討を行った。

全体計画・計画研究への寄与：

オホーツク海・西部ベーリング海・西部亜寒帯海域などロシア海域では、強い乱流によって、鉄等生物生産を支える栄養物質が中深層から供給される海域として、日本に海の恵みをもたらす親潮海域の生物生産を支える要因であるという本新学術での仮説を定量的に実証するためには、ロシア船による観測航海が必須である。ロシア船航海を実施するためには、数年がかりで計画の提出、ロシア政府の許可申請を行う必要があり、また、航海実行後も、観測データの解析のために、ロシアを訪問する必要がある。

制度の改善点・感想等：

実際の日程：

西岡

2017年5月14日 札幌->千歳空港->成田空港->ウラジオストク ウラジオストク泊  
5月15日 ロシア水文気象研究所において航海打ち合わせ ウラジオストク泊  
5月16日 ウラジオストク->成田空港->千歳->札幌  
2018年3月25日 札幌->千歳空港->成田空港->ウラジオストク ウラジオストク泊  
3月26日 ロシア水文気象研究所において航海打ち合わせ ウラジオストク泊  
3月27日 ウラジオストク->成田空港->東京

安田

2017年5月14日 国分寺->成田空港->ウラジオストク ウラジオストク泊  
5月15日 ロシア水文気象研究所において航海打ち合わせ ウラジオストク泊  
5月16日 ウラジオストク->成田空港->国分寺  
2018年3月25日 国分寺->成田空港->ウラジオストク ウラジオストク泊  
3月26日 ロシア水文気象研究所において航海打ち合わせ ウラジオストク泊  
3月27日 ウラジオストク->成田空港->国分寺